

# 休学などを考えている方へ

八戸工業大学に在学中の皆さんへ

本学の支援や休学などの手続き方法、在籍可能年数などの制度面を記載しております。

以下に当てはまる方は、選択肢の1つとしてご一読ください。

- ☐ 進路変更を考えている
- ☐ 心身の不調で思うように大学に来ることができない
- ☐ 経済的事情で一度休学したい
- ☐ 家庭の問題や対人関係で悩んでいる
- ☐ 将来について考える時間を作りたい
- ☐ 学修面で悩んでいる（留年、単位が取れないなど）

お問い合わせ先

八戸工業大学  
教育・学生支援部(教務・学生支援チーム)

TEL: 0178-25-8025

✉: [kyoumu@hi-tech.ac.jp](mailto:kyoumu@hi-tech.ac.jp)

窓口: 八戸工業大学 1 号館 1 階

## 目次

1. 相談窓口
2. 休学について
3. 休学・復学・退学の手続きについて
4. 提出期限および授業料について
5. 奨学金・修学支援金の取り扱いについて
6. Q&A

# 1. 相談窓口

以下の相談窓口があります。”誰に相談すれば良いか分からない…”という場合にも、皆さんのお悩みや状況に適した方に相談できるよう案内しますので、気軽に相談ください。

○修学支援担任

○教育・学生支援部 教務・学生支援チーム

○学生支援センター（専門コーディネーター・カウンセラーの先生がいます）

# 2. 休学について

休学は、3か月以上大学に来ることができない場合に必要な手続きです。

## (1)休学年数について

在籍年数や休学年数については以下のとおりです。休学期間は在籍期間に含まれますので、学部生は最長4年休学することが認められます。一方で、休学期間は修業年限には含まれませんので、休学を除いて修業年限以上在学しなければ、卒業することはできません。

|        | 修業年限 | 在籍年数（最長） | 休学年数(最長) |
|--------|------|----------|----------|
| 学部生    | 4年   | 8年       | 4年       |
| 博士前期課程 | 2年   | 4年       | 2年       |
| 博士後期課程 | 3年   | 6年       | 3年       |

## (2) 休学のメリット

### ① 病気の治療や心の休養ができる

休学をすることで、病気の治療や心の休養ができます。

### ② 学業以外の活動に集中できる

在学中は、授業や課題、試験準備などでとまとった時間がとれない場合が多いです。休学をすることで、ボランティア活動、海外留学、違う分野の資格取得のための勉強などに時間を費やすことができます。中には、アルバイトに専念し学費を工面するために休学する場合もあります。

### ③ 精神的な余裕ができる

「大学に行かなければならない」というプレッシャーから一旦離れ、自分は何をしたいのか、将来どのように生きていきたいか、ゆっくり考える時間を確保することができます。休学期間は、具体的な自己理解と将来を考えるために必要な期間、という場合も多くあります。

### ④ 休学中の授業料は免除される

休学中の授業料は免除されますが、休学願の申請のタイミングによっては免除額が変わる、または免除されない場合もあります。休学を考えている場合は早めに教務・学生支援チームに相談することをお勧めします。

## (3) 休学のデメリット

### ① 卒業が遅れる

休学した分、卒業時期が遅れることになります。通常は3月卒業(4年在籍)ですが、9月卒業(4年6か月在籍)というケースも考えられます。

### ② 復学後、違う学年の学生と一緒に授業を受ける可能性が高い

特に実験や実習等ではグループで作業することが多く、後輩との関わりが生じます。

### ③ 就職活動で説明を要する

就職活動の際に、休学理由について問われることがあります。休学した目的や成果(どのような学びを得たか)などについてしっかり説明することが必要になります。

### 3. 休学・復学・退学の手続きについて

#### (1) 休学手続きについて

休学は、3か月以上大学に来ることができない場合に必要手続きです。

休学期間が複数年度にわたる場合は、年度ごとに休学願を提出することになります。

なお、休学期間の途中で復学や退学をする場合は、当該期分の授業料納入が必須です。

##### <手続きの流れ>

- ① 修学支援担任（もしくは 教務・学生支援チーム）に休学希望の旨を連絡、面談を行います。
- ② 教務・学生支援チーム職員と面談します。  
予約は不要で、所要時間は 20 分程度です。授業料や奨学金の状況も確認します。
- ③ 休学願等書類を受け取ってください。  
状況に応じて奨学金書類もお渡しします。
- ④ 本人、保証人押印のうえ、教務・学生支援チームへ提出してください。
- ⑤ 提出日の翌月下旬、休学承認通知が郵送されます。

#### (2) 復学手続きについて

休学後、復学する際も手続きが必要です。

##### <手続きの流れ>

- ① 前期からの復学：前年度 2 月上旬頃、後期からの復学：8 月上旬頃に本学から復学届が郵送されます。
- ② 本人、保証人押印のうえ、教務・学生支援チームへ提出する。
- ③ 修学支援担任や教務・学生支援チームと面談し、復学後のスケジュールや履修登録期間等の確認をします。

#### (3) 退学手続きについて

大学を辞める場合は以下の手続きが必要です。

##### 手続きの流れ

- ① 修学支援担任（もしくは 教務・学生支援チーム）に退学希望の旨を連絡、面談を行います。
- ② 教務・学生支援チーム職員と面談します。  
予約は不要で、所要時間は 20 分程度です。授業料や奨学金の状況も確認します。
- ③ 退学願等書類を受け取ってください。  
状況に応じて奨学金書類もお渡しします。
- ④ 本人、保証人押印のうえ、教務・学生支援チームへ提出します。
- ⑤ 提出日の翌月下旬、退学承認通知が郵送されます。

## 4. 提出期限および授業料について

### (1) 休学の場合

| 提出時期          | 休学対象期間               | 授業料          | 成績                                                |
|---------------|----------------------|--------------|---------------------------------------------------|
| 前年度～4/1<br>まで | 4/1～9/15             | I 期 授業料納入不要  | 認定なし                                              |
| 4/2～6/15      | 提出日の翌月1日～<br>9/15    | 在学月数分の授業料を納入 | 認定なし                                              |
| 6/16～9/15     | 提出日の翌月1日～<br>3/31    | 在学月数分の授業料を納入 | 認定なし                                              |
| 9/16～10/1     | 10/1～3/31            | II 期 授業料納入不要 | 前期科目の成績は<br>認定あり<br><br>通年科目の成績は<br>認定なし          |
| 10/2～1/1      | 提出日の翌月1日～<br>3/31    | 在学月数分の授業料を納入 | 前期科目の成績は<br>認定あり<br><br>通年科目、後期科<br>目の成績は認定な<br>し |
| 1/2～          | 休学願提出不可(当該年度中の休学の場合) |              |                                                   |

例)11/15 に休学願を提出した場合

→休学期間は 12/1～3/31 となります。この場合、2 か月分(10,11 月)の授業料を納入していただきます。既に II 期分を納入している場合は、差額分を返還いたします。

・休学前までに取得した単位は、そのまま残ることになります。学期途中で休学をした場合は、当該学期に履修科目の単位を取得することはできません。

### (2) 復学の場合

| 提出時期           | 復学日  | 授業料        |
|----------------|------|------------|
| 前年度 2 月～4/1 まで | 4/1  | I 期 授業料納入  |
| 8 月～9/16       | 9/16 | II 期 授業料納入 |

### (3) 退学の場合

| 提出時期   | 退学日       | 授業料            | 成績                              |
|--------|-----------|----------------|---------------------------------|
| 退学日前まで | 4/1～9/14  | I 期 授業料納入(※1)  | 認定なし                            |
|        | 9/15      | I 期 授業料納入(※2)  | 認定あり(※3)                        |
|        | 9/16～9/30 | II 期 授業料納入不要   | 前期科目の成績は認定あり<br>通年科目の成績は認定なし    |
|        | 10/1～3/30 | II 期 授業料納入(※1) | 前期科目の成績は認定あり<br>通年、後期科目の成績は認定なし |
|        | 3/31      | II 期 授業料納入(※2) | 認定あり(※3)                        |

(※1)学期途中の退学の場合、八戸工業大学特待生・奨学生においては減免額を返還していただく場合があります。

(※2)休学期間満了後の退学の場合は、授業料の納入不要です。

(※3)休学期間満了の場合は、成績の認定はありません。

## 5. 日本学生支援機構奨学金・高等教育の修学支援新制度の取り扱いについて

日本学生支援機構貸与奨学金、高等教育の修学支援新制度（給付奨学金及び授業料等減免）を受けている方は、教務・学生支援チームにて手続きが必要です。

### (1) 休学の手続き

休学の場合、奨学金の交付が止まります。これを休止といいます。手続きは、教務・学生支援チームにて「休止の異動願(届)」を配布しますので、提出してください。

高等教育の修学支援新制度（給付奨学金及び授業料等減免）を受けている方は、休学中も「在籍報告」等の手続きが必要です。

貸与奨学金につきましては、休学(休止)期間が2年を超えた場合は奨学生の資格を失うため辞退する必要があります。

### (2) 復学の手続き

復学の場合は、「復活の異動願(届)」を記入いただきます。学籍上の復学手続きだけでは奨学金は復活しません。

提出後は、日本学生支援機構で審査し、復活が可能であれば奨学金の交付が再開されます。

### (3) 退学の手続き

退学の場合は、教務・学生支援チームにて「退学の異動願(届)」を配布しますので、提出してください。提出後、貸与奨学金の場合は、返還(返済)の手続きが必要になります。

高等教育の修学支援新制度（給付奨学金及び授業料等減免）は原則返還のない制度ですが、退学時に行う適格認定において、学業成績の判定結果によっては支給済みの給付奨学金の返還や減免されていた授業料の返金を求める場合があります。

また、一度退学により支給が終了すると、退学後、別の学校に入学する場合、再度申し込むことはできませんのでご注意ください。ただし、1年間を経過しない間に別の学校に転学、編入学する場合は、引き続き支援を受けられる可能性があります。

その他、日本学生支援機構奨学金について必要な手続きがある場合は、教務・学生支援チームからお知らせいたします。

## 6. 八戸工業大学特待生・奨学生の取り扱いについて

八戸工業大学特待生の場合は、特待生の取消、または区分変更が生じる可能性があります。  
八戸工業大学奨学生の場合は、奨学生の取消が生じる可能性があります。

## 7. 自治体や民間団体等の奨学金の取り扱いについて

休学などの場合は、各奨学金の規定に基づいた手続きが必要となります。  
各奨学金団体の問い合わせ先へ連絡してください。

## 8. Q&A

### Q1. 休学中の大学施設の利用はできますか？

- A. はい、できます。図書館や学生ホールなどの利用は可能です。  
ただし、授業を受けることはできません。

### Q2. 各種証明書や学割はもらえますか？

- A. はい。証明書発行機から発行が可能です。

### Q3. 休学期間中に学生証の有効期限が切れます。更新手続きは必要でしょうか。

- A. 休学期間中も学生証は基本的に有効です。証明書発行、学割、図書館、国民年金学生納付特例制度などにも利用できます。有効期限が切れている場合は再発行をしますので、教務・学生支援チームまでご連絡ください。

### Q4. 休学した場合、進級できなくなるのでしょうか。

- A. 進級については、「①学年の年数以上を在学していること(休学期間を除く)」「②進級要件を満たすこと」の2つが必要となります。

#### ① 学年の年数以上を在学していることについて

|              |                         |
|--------------|-------------------------|
| 1→2 年へ進級する場合 | 通算して1年以上在学すること（休学期間を除く） |
| 2→3 年へ進級する場合 | 通算して2年以上在学すること（休学期間を除く） |
| 3→4 年へ進級する場合 | 通算して3年以上在学すること（休学期間を除く） |

#### ② 進級要件を満たすこと

進級要件については、入学年度の学生要覧で確認してください。